

中学公民 基本的人権

要点チェック (レベル1)

1, 基本的人権と義務

日本国憲法では、自由権・平等権・社会権などの (1) を保障し、これは (2) の尊重の考え方にもとづいて、(3) の下の平等とも深く結びついている。

だから大人だけでなく (4) の人権も含まれている。国連で採択された (5) 条約も日本は批准 (条約に賛成する) している。

【5の例】

- ・生きる権利：命が守られ、安心して暮らせる。病気の治療
- ・守られる権利：暴力や危険、搾取から守られる。虐待から守る
- ・育つ権利：教育を受け、体と心が健やかに育つ。
- ・参加する権利：自由に意見を言ったり、集まって活動したりする。

社会全体の利益、つまり(6) のために、個人の権利が制限される場合がある。

日本国憲法第 12 条

「国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に(6) のために これを利用する責任を負ふ。」

例：道幅が狭すぎて渋滞の多い道路。家の立ち退きを求めることがある。

・国民の義務

- ・子どもに(7) 義務 ***親が子どもを中学校まで通わせること**
- ・(8) : 能力に応じて働く義務
- ・(9) : 税金を納める義務

選挙で投票する、法、基本的人権、子どもの権利、納税、公共の福祉、勤労、普通教育を受けさせる、子ども、個人、

確認問題

- 問1 日本国憲法が保障する自由権や社会権などの権利を何と
いうか。
- 問2 1が保障されるのは、何という考え方に基づいているか。
次のカッコ内に入る語句を答えなさい。
「すべて国民は、()として尊重される」
- 問3 1が保障されるのは、何という権利と深く結びついで
いるか。「すべて国民は法の下に()であつて」
- 問4 1が制限されるのは、何に反する場合か。
- 問5 すべての子どもが一人の人間として尊重されながら成長
する権利を保障する条約を何とよぶか。

レベルⅠのⅠ 基本的人権のつづき

- 問6 次のカッコ内に入る適切な語句を**選び**なさい。
日本国憲法第12条「この憲法が国民に保障する自由及び権利は…国民は、これを（ 濫用・主張 ）してはならないのであつて、常に**公共の福祉**のためにこれを利用する（自由・責任）を負ふ。」
- 問7 日本国憲法の定める**国民の義務**として正しいものを**3つ**選びなさい。
教育を受けること、 税金を納めること
能力に応じて働くこと、 兵役に就くこと
子どもに普通教育を受けさせること

2, 平等権の保障

(1) は、だれもが平等な扱いを受ける権利です。日本国憲法は、すべての国民が**法の下に平等**であるとしています。

しかし、現在の日本には差別があり、**部落差別**や**アイヌ民族**への差別の撤廃、**男女平等**の社会をめざして、さまざまな法律が定められています。

日本国憲法第14条

「すべて国民は、(2)であつて、人種、^{しんじょう}信条、性別、社会的身分又は^{もんち}門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」

*信条は宗教上の信仰や政治上の信念。 門地は家がらや生まれの意味。

・男女平等をめざす法律

- (3) : 企業に対し、採用、昇進、賃金などに関する男女の差別を禁止している。
- (4) : 男女の区別なく、その能力をいかし、いろんな活動に参加できる社会を目指す。

・障がい者との共生

障害者基本法 : 障がいのある人の社会参画などを目的とする

バリアフリー : 障がい者が生活の中で不自由がないように施設や公共交通機関を整える

男女共同参画 ^{さんかく}社会基本法、男女雇用機会均等法、^{こよう}平等権、法の下での平等、

確認問題

レベル1の2平等権のつづき

- 問1 誰もが差別を受けることなく、平等な扱いを受ける権利を何というか。
- 問2 日本国憲法第14条において、カッコに入る語句を書きなさい。
「すべて国民は、()の下に平等であつて」
- 問3 企業に対し、採用、昇進、賃金などで男女の差別を禁じている法律を何というか。
- 問4 男女の区別なく、その能力をいかし、いろんな活動に参加できる社会を目指す法律を何というか。
- 問5 障がいのある人の社会参画などを目的に定めた法律を何というか。
- 問6 北海道などを居住地とした先住民族への差別をなくすために、定められた法律を何というか。
- 問7 目の不自由な人を安全に誘導するため、道路にある設備をひとつ答えなさい。

3, 自由権の内容

基本的人権のうち、自由に考え行動することのできる権利が(1)です。1は、(2)の自由、(3)の自由、(4)の自由に大きく分けられます。

- (2)の自由：正当な理由なく身体を拘束されない自由
- ・ 奴隷的拘束および苦役からの自由：苦役は肉体的・精神的な苦痛を受ける労働のこと
 - ・ 逮捕・拘禁などに対する保障：現行犯をのぞき、裁判官の令状がなければ逮捕されない
- (3)の自由：心の中や、それを表現する自由
- ・ 思想・良心の自由：社会主義など、どんな政治的な考えも制限できない
 - ・ 信教の自由：どんな宗教を信仰しても、信仰しなくてもよい
 - ・ 集会・結社・表現の自由：政党やグループを作ったり、自分の作品を発表したりする自由
 - ・ 学問の自由：学問や研究は自由に行える
- (4)の自由：経済的に安定した生活をおくるために保障された権利
- ・ 居住・移転・職業選択の自由：どこに住み、何の仕事に就くかは自由
 - ・ 財産権の保障(不可侵)：自分で得た財産は、奪うことができない
- *ただし、4の自由は、公共の福祉によって制限されることがある。

精神、身体、経済活動、自由権、

確認問題

- 問1 自由に考え行動することができる権利を何というか。
- 問2 1は大きく分けて、身体の自由、経済活動の自由のほかは何の自由があるか。
- 問3 経済活動の自由には、居住・移転の自由のほか、何を選擇する自由があるか。
- 問4 経済活動の自由には、何を所有する権利が保障されているか。

レベル1の3自由権のつづき

- 問5 自由権のうち、次の項目は何の自由当てはまるか選りなさい。
- ・思想・良心の自由や学問の自由（ 身体の自由・精神の自由 ）
 - ・裁判官の令状なしに逮捕されないこと（ 身体の自由・経済活動の自由 ）
 - ・誰でも自由に本を著して出版できること（ 表現の自由・信教の自由 ）
 - ・ほかの2つの自由にくらべて、公共の福祉による制限を受けやすいのは、（ 精神の自由・経済活動の自由 ）

4、社会権の内容

人間らしい豊かな生活を送る権利を(1)という。その中心が(2)で、ほかに**教育を受ける権利**、**勤労の権利**、**労働基本権**（労働三権）がある。

(2)：健康で文化的な最低限度の生活を営む権利

日本国憲法第25条

「すべて国民は、(3)で(4)な(5)の生活を営む権利を有する。」

例：貧困、病気、加齢、失業など、自分の力では立ち直れず、人間らしい生活を送れない状況
→政府は(6)を充実させている。
(国民健康保険、年金制度、雇用保険、介護保険、生活保護、など)

教育を受ける権利：能力に応じて等しく教育を受ける権利。

その一環として、義務教育は無償

勤労の権利：すべての国民は、勤労の権利をもち、義務を負っている。

勤労の権利のため、ハローワークがある

労働基本権（労働三権）

- ・**団結権**：労働組合をつくる権利
- ・**団体交渉権**：使用者と組合が交渉する権利
- ・**団体行動権**（争議権）：要求を実現しようと、ストライキを行う権利

社会保障制度、文化的、社会権、最低限度、生存権、健康、

確認問題

- 問1 人間らしい豊かな生活を送る権利を何というか。
- 問2 日本国憲法第25条で、カッコ内に当てはまる語句を書きなさい。
「すべて国民は、()権利を有する。」
- 問3 社会権の1つのうち、国民は能力に応じて等しく何を受ける権利を持っているか。
- 問4 社会権の1つのうち、すべての国民が権利をもち、同時に義務を負っているものは、何か。
- 問5 労働者に認められている団結権、団体交渉権、団体行動権をまとめて何というか。
- 問6 社会権のうち、日本国憲法第25条で定められているのは、何か。
- 問7 労働者が労働組合をつくる権利を何というか。
- 問8 労働者がストライキを行う権利を何というか。

レベル1の4社会権のつづき

5, 人権を保障する権利

憲法では、人権をたしかに保障するために、(1)と(2)を保障。

- (1)：国民が政治に参加する権利
 - ・ **選挙権**：満 18 歳以上の国民は、選挙に投票できる権利
 - ・ **被選挙権**：選挙に立候補できる権利
 - ・ 憲法改正の (3)
 - ・ 最高裁判所裁判官の (4) *3と4はまちがいやすい
 - ・ (5)：国や地方公共団体に直接要求を申し出る権利
- (2)：基本的人権が侵害されたとき、国に救済を要求する権利
 - ・ **裁判を受ける権利**：国は裁判を拒否できない
 - ・ **国家賠償請求権**
 - ・ **刑事補償請求権**：無実の罪で拘束されたときの補償 *2と5もまちがいやすい

6, 新しい人権

憲法に明記されていないが、社会の変化で主張されるようになった。

(6)	暮らしやすい環境を求める権利。騒音や日照など。
(7)	国や地方公共団体に情報の公開を求める権利。
(8)	個人情報のみだりに公開されない権利。

自己決定権：職業、結婚、趣味、服装、頭髪など自分で決める権利
インフォームドコンセント、治療の前に十分な説明をうけて決定する

知る権利、請求権、請願権、国民審査、国民投票、プライバシーの権利、参政権、環境権、

確認問題

- 問1 国民が政治に参加する権利を何というか。
- 問2 国会議員や地方議会の議員などの選挙で投票できるのは、満何歳以上か。
- 問3 国民が国や地方公共団体に直接要望を申し出る権利を何というか。
- 問4 人権が侵害された場合、国に対して要求できる権利を何というか。
- 問5 暮らしやすい環境を求める権利を何というか。
- 問6 自分の生き方や生活の仕方など自由に決める権利を何というか。
- 問7 国会議員や都道府県知事選挙に立候補する権利を何というか。
- 問8 個人情報のみだりに公開されない権利を何というか。

要点チェック（レベル2）

1, 基本的人権と平等権

- (1) : 侵すことのできない永久の権利として保障
- (2) : 1の土台となる。すべて国民は (3)として尊重され、
(4)の下に平等である。
- ・ 男女平等のために : 国連で採択された女子差別撤廃条約をもとに法律を制定
(5) : 採用、賃金、昇進などで差別を禁止
(6) : 個人の能力によって活動に参加できる社会を目指す
 - ・ 障がい者と共生 : バリアフリーの普及など、すべての人が支えあう **インクルージョン**の実現へ
1970年障害者基本法、2013年障害者差別解消法
 - ・ 差別問題 : 部落差別、アイヌ民族、在日韓国人・朝鮮人への差別など

2, 自由権

- (7) : 自由に考え行動する権利
- ・ (8)の自由 : 奴隷的拘束や苦役からの自由、
法的手続きがなければ、逮捕されない自由、黙秘権
 - ・ (9)の自由 : 思想・良心、信教、表現、学問の自由
 - ・ (10)の自由 : 居住・移転・職業選択の自由、財産権

3, 社会権

- (11) : 人間らしく生きる権利。20世紀になって確立。
- ・ (12) : 憲法第25条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」
→ 国に(13)を整備する義務
〔例 : 国民健康保険、年金制度、介護保険、生活保護〕
 - ・ (14)を受ける権利 : すべての国民に保障、義務教育は無償。
 - ・ 働く人の権利 : 勤労の権利と労働基本権
(15) : 労働組合をつくる権利
(16) : 組合と使用者が交渉する権利
(17) : ストライキをする権利 2024年は76件

精神、教育、自由権、平等権、男女共同参画社会基本法、男女雇用機会均等法、個人、経済活動、社会保障制度、生存権、法、社会権、団体交渉権、団体行動権、身体、団結権、基本的人権、

4, 基本的人権を守るための権利

レベル2の3つづき

- (1) : 政治に参加する権利
- ・ 選挙権 : 18歳以上で投票する権利、被選挙権 : 議員など選挙に立候補する権利
 - ・ 憲法改正の (2) 権、最高裁判所裁判官の (3) 権
 - ・ 国や地方公共団体に要望する (4)
- (5) : 人権が侵害されたとき、国に救済を求める権利
- ・ (6)
 - ・ 国家賠償請求権、刑事補償請求権
- (7) : 他人の人権を侵害すること、社会の共同生活のために人権が制限される場合がある
- 国民の義務 : 子ども (8 が普通教育を受ける・に普通教育を受けさせる) 義務
(9)、(10) の義務

5, 新しい人権

社会の変化で議論を呼び、憲法に明記されてないが解釈に基づき法律を制定

- (11) : 住みやすい環境を求める権利。日照権など。
- ・ (12) : 開発が周辺に与える影響を調査させ、住民に報告させる制度
 - ・ 環境基本法 : 公害対策基本法から発展
- (13) : 国や地方公共団体に、人々の請求に応じて情報公開を義務づける
- (14) : 他人に知られたくない個人の私的な情報を公開されない権利
- ・ 2003年個人情報保護法を制定
- (15) : 自分の生き方や生活の仕方など自由に決定できる権利
- ・ (16) : 医療における十分な説明に基づく同意
 - ・ ドナーカード : 臓器提供の意思表示をする

6, 国際社会での人権

- (17) : 1948年国際連合(国連)が採択。人権保障の規範をしめす
→1966年(18) : 法的な拘束力をもつ

その他の条約、難民条約、女子差別撤廃条約、子どもの権利条約、先住民族の権利に関する国連宣言、など

知る権利、自己決定権、請求権、請願権、国民審査、国民投票、国際人権規約、参政権、公共の福祉、納税、プライバシーの権利、世界人権宣言、勤労、裁判を受ける権利、環境権、インフォームドコンセント、環境アセスメント、

基本問題（レベル3）

1, 次の図の にあてはまる語句を書きなさい。

個人の（ 1 ）			
平等権	（ 2 ）の下の平等	（ 1 ）	）
	両性の（ 3 ）的平等	（ 2 ）	）
自由権	（ 4 ）活動の自由	（ 3 ）	）
	●思想・良心の自由 ●信教の自由	（ 4 ）	）
	●集会・結社・表現の自由、通信の秘密	（ 5 ）	）
	●学問の自由	（ 6 ）	）
	（ 5 ）の自由	（ 6 ）	）
	●奴隷的拘束・苦役からの自由		
	●法廷の手続きの保障	（ 7 ）	）
	（ 6 ）活動の自由	（ 8 ）	）
	●居住・移転・職業選択の自由	（ 9 ）	）
●財産権の不可侵			
●社会権			
（ 7 ）権	…健康で文化的な最低限度の生活を保障	（ 10 ）	）
（ 8 ）を受ける権利	…義務教育は無償	（ 11 ）	）
（ 9 ）の権利	…労働者の権利を保障	（ 12 ）	）
（ 10 ）権 （労働三権）	（ 11 ）権 …労働組合をつくる	（ 13 ）	）
	（ 12 ）権 …使用者と対等に交渉	（ 14 ）	）
	（ 13 ）権 （争議権） …ストライキを保障	（ 15 ）	）
●人権を保障する権利			
参政権	（ 14 ）権 …代表者を選ぶ権利	請求権	国家賠償請求権
	（ 15 ）権 …立候補する権利		（ 17 ）を受ける権利
	憲法改正の国民投票権		（ 18 ）
	（ 16 ）権 …政府に対し 要望を述べる権利		刑事補償請求権
		（ 19 ）	）
		（ 20 ）	）
●新しい人権			
（ 18 ）権	…健康で快適な環境のもとで暮らす権利	（ 21 ）	）
（ 19 ）権利	…国や地方公共団体、企業の情報を手に入れる権利		
（ 20 ）の権利	…私生活や個人情報を勝手に知られたり、利用されたりしない権利		
（ 21 ）権	…生き方や生活スタイルにおいて、自分の決定が優先される権利		

2, 次の問いに答えなさい。

- 問1 誰もが差別されず、等しい扱いを受ける権利を何と
いうか。
- 問2 国などから不当な干渉を受けず、自由に物事を考え
行動することができる権利を何と
いうか。
- 問3 失業や貧困が問題になると、人間らしく生活する権利
が求められるようになった。この権利を何と
いうか。
- 問4 政治に参加する権利を何と
いうか。
- 問5 権利が侵害されたり、不利益な扱いを受けたりした時
国などに救済を求める権利を何と
いうか。
- 問6 1989年国連で採択された、18歳未満の人の生きる権
利、育つ権利などを定めた条約を何と
いうか。
- 問7 国境に関係なく、人権問題の解決などに力を注いでい
る民間団体を何と
いうか。
- 問8 日本国憲法の三大原理のひとつ、戦争の放棄、戦力の
不保持、交戦権の否認の方針を何と
いうか。

3, 日本国憲法の条文について、カッコ内に当てはまる語句を書きなさい。

- 第1条 天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、
この地位は、(A)の存する日本国民の総意に基づく。
- 第3条 天皇の国事に関するすべての行為には、(B)の助言と承認
を必要とし、(B)が、その責任を負ふ。
- 第9条①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求
し、国権の発動たる(C)と、武力による威嚇又は武力の行
使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄
する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の(D)は、これ
を保持しない。国の(E)は、これを認めない。
- 第13条 すべて国民は、(F)として尊重される。生命、自由及び
(G)追及に対する国民の権利については、(H)に反しない
限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
- 第14条①すべて国民は、法の下に(I)であつて、人種、信条、性別、
社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係
において、(J)されない。
- 第25条①すべて国民は、(K)で文化的な(L)の生活を営む権利を
有する。

***よくテストに出る！**

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L